

ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針にもとづく「情報公開文書」

理化学研究所脳科学総合研究センター分子精神科学研究チームでは、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」に基づく、以下の研究を実施しています。この文書は、試料や情報（個人情報を含む）がどのような研究に用いられているかについて情報提供（公開）をし、試料等の提供、利用についての同意に関し、研究への協力を止めたい、あるいはご自分の解析データ等については使用されたくないというご希望がある方へ、同意撤回の機会をご提示するための公開情報（オプトアウト）となります。

研究内容等についてのお問合せや協力中止のご希望がある方は、連絡先まで、ご連絡いただけますようお願いいたします。

研究の名称：「精神神経疾患における病態生理・発症脆弱性・治療反応性等の解明、および新規治療法・診断予防法の開発を目指した遺伝子解析」

研究の目的：

発達障害（自閉性障害）や思春期・成人期の内因性精神病と呼ばれる統合失調症や気分障害は、比較的発症率も高く慢性の経過をたどります。一旦発症すると患者さんのクオリティ・オブ・ライフは一生影響を受けるため、早急に疾患のメカニズムを解明し、根本的な治療法や予防法を確立することを目標としています。

研究方法：

疾患の原因として複数の遺伝子および環境要因、それらの複合的な相互作用が想定されています。このような複雑遺伝疾患に対しては、なるべく多くのサンプルの解析が必要であるため、複数の施設と協力しながら分子遺伝学的解析を進めています。具体的には、各種ゲノム解析、モデル動物の解析、iPS細胞の樹立とその解析、およびその他の方法論を組み合わせ、多面的角度からの精神疾患の感受性遺伝子同定や機能解析、治療や予防に繋がるメカニズム解析を目指しています。

研究期間： 承認日～2019年3月31日

使用またはする試料・情報

種類：末梢血液、唾液、リンパ球、DNA、毛根、iPS 細胞及び iPS 細胞を分化させた細胞。

採取機関：理化学研究所、千葉大学、金沢大学

利用する者の範囲

理化学研究所 脳科学総合研究センター。

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

理化学研究所 脳科学総合研究センター 分子精神科学研究チーム
チームリーダー 吉川武男

研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止 / 同意の撤回があった場合の対処方法

対応表が作成されない匿名化の場合、試料・情報（測定/解析結果含む）を廃棄することは出来ません。対応表が作成された匿名化の場合、試料提供者または代諾者の求めに応じて試料・情報（測定/解析結果含む）を廃棄します。ただし、論文等で既に公表された後においては廃棄できません。

研究対象者等の求めを受け付ける方法/連絡先

〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1

電話番号：048-462-1111 内線 7631

理化学研究所 脳科学総合研究センター

チームリーダー 吉川武男